

ジェンダー平等ミーティング

令和5年度
若い世代からの
ジェンダー平等
推進事業

8月26日(土)テーマ

「デートDVとジェンダー」



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



「デートDVとジェンダー」

講師：上野淳子さん（四天王寺大学准教授）

- 「デートDV」は和製英語
- 中・高生にも加害者、被害者がおり、大学生で一番多く起こっている
- 虐待やいじめとも関連している
- 若い世代への働きかけが重要である
- デートDVは「暴力」と認識されにくい
- 暴力をきちんと認識できる知識を身に付ける必要性がある
- 男性の被害リスク 　いずれの暴力に関しても男性の方が高い

「デートDVとジェンダー」

講師：上野淳子さん（四天王寺大学准教授）

- ・暴力行為とジェンダー
異性カップルにおける暴力行為とジェンダーの組み合わせにおいて「男性被害－女性加害」「ジェンダーで差なし」が多い
- ・男性はジェンダー意識ゆえに打ち明けにくいかもしれない
- ・ジェンダー不平等な社会構造がさまざまな女性の暴力被害、男性の暴力加害を生み出しているのは明らか
男性も実際に暴力を受けていて、ビクビクしている

若い世代への予防教育

「男性被害－女性加害」にも目を向けた相談体制

感想

- デートDVについて知って、恋人間で男性被害が多いということを知って驚いた。固定概念に囚われずに物事を考えることが大切だと感じた。
- イメージとは全く逆の統計結果ばかりで、この人数しかこの講義を聞けないのが残念に思うくらい意義のあるものだった。きっとほとんどの人は、男性加害が多いと思い込んでいると思うので、今日の内容はもっと多くの場所で知られて欲しいなと感じた。
- 男性の被害が多くあることを初めて知った。女性の方が被害にあっている、守るべきという固定観念に囚われていることが分かった。

感想

- ・デートDVについて知らなかったのでお話を聞いて面白かったです。女性の方が被害が多いイメージでしたが、男性の被害が表に出ないからと考えると、ジェンダー問題の深刻さを感じました。
- ・男性がDV被害の多いの思った通りでした。やはり世の中にまだまだジェンダーに対する固定観念が強いとわかりました。ジェンダー平等を完全に実現できるまでまだまだ長いですね。
- ・この講演の題名を聞いた時にまず女性被害のことが頭に思い浮かびました。男性の被害についての世の中と自分の意識の低さに驚きました。女子トイレにはデートDVに関する相談センターの紙が貼ってあったりしますが、そのような対策を男性にもしていくことが大切であると感じました。

感想

- ・デートDVというものの存在を知ることができた。そして、たくさんの統計を元にした日本の現状を理解でき、様々な対策が必要であると感じた。
- ・男性被害が報告しやすい環境を作る必要性を強く感じました。知らなかったなどの声もあるので周知・発信をするべきなんだろうなって思いました。
- ・DVの被害は女性が多いと思っていましたが、実際は男性の方が多く周りの人間の考え方が男女不平等であるということを学びました。男性が被害を受けたことを相談していいのかわからないと言ったということを聞いて男性も女性も考え方を変えていかなければならないなと思いました。

感想

- ・男女のデートDV件数の比率などを見て、女性の方が被害の報告が多く、やっぱりなと思ったが、それはそもそも男性の相談先が少ないということが原因の一つであるとわかりました。これからは男性の相談先も増やしていくことが、デートDV全体の件数の減少に繋がっていくのではないかと思います。
- ・男性による暴力が目立っているが、その実女性の暴力も横行している現状がある、むしろ女性の暴力の方が多いというデータさえあるということを周知しなければならないと思った。デートDVという言葉はあまり聞いたことは無かったが、我々があまり意識していないようなことでも暴力になりうる可能性があるということについて恐ろしく思った。